学校番号	411

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）文系数学演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	新課程リンク数学演習Ⅰ･A　受験編　a+b						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主に数学Ⅰ・数学Aの内容を行います。
・授業では課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。また、自分の考えや解き方を発表したり、議論したりする活動を行います。
・必ず、まず自分で解いてみること。解くときには解き方や求め方をきっちり書きましょう。それを書いておくことで自分の間違いに気づき、授業での説明などがわかりやすくなります。
・授業中の板書を書き写すだけでは評価の対象になりません。必ず自分で積極的に取り組んでいくことが必要です。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
入試問題に挑戦するための前提となる、基本的な概念や原理・法則（公式）などの知識の習得と技能の習熟ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
数学Ⅰ・数学Aの内容を体系的に理解するとともに、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができ、入試問題を解くための考え方や応用力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
入試レベルの難しい問題でも積極的に取り組み、粘り強く考え、自ら判断しようとする態度や問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	数学Ⅰ・数学Aの内容を中心に基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学的に解釈したり、数学的に処理したりする技能を身につけている。	基本的な概念や原理を利用して論理的に考え、適切な手法を選択して分析し、問題解決することができる。また、その過程や結果を批判的に考察し判断することができる。	自ら進んで考え、判断しようとする態度や、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。また、生徒間で協力して問題を解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式	・多項式の加法、減法、乗法 ・因数分解 ・実数 ・1次不等式	a:式の見方について理解している。基本事項が身についている。 b:基本事項を理解し、その考え方を活用して計算式や不等式の性質を考察することができる。 c:性質や処理方法に関心をもち、処理しようとする。	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・協力して問題解決しているか
	2次関数	・関数とグラフ ・2次関数の最大･最小 ・2次方程式 ・2次不等式	a:関数の概念や定義域・値域について理解している。２次関数のグラフを書いたり、読み取ったりすることができる。 b:２次関数のグラフの性質と方程式や不等式との関係を理解し、考察することができる。 c:２次関数と方程式・不等式の関係に関心をもち、処理しようとする。	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・協力して問題解決しているか
2学期	図形と計量	・三角比 ・正弦定理、余弦定理 ・三角形の面積 ・空間図形への応用	a:角を鈍角まで拡張した場合の三角比について理解している。 正弦定理や余弦定理が直角でない三角形に活用できることを理解している。 b:三角比を活用することで、測量などの場面に利用できることを理解し考察できる。 c:三角比に関心を持ち、図形の計量に活用しようとする。	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・協力して問題解決しているか

	場合の数と確率	・集合 ・順列 ・組合せ ・確率	a:基本的な場合の数や確率の内容を理解し、計算できる b:文脈からどのような状況での問題であるかを理解し、処理することができる。 c:問題の内容を理解し、処理しようと取り組んでいる。生徒間で協力し理解を深めようとしている。	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・協力して問題解決しているか
	図形の性質	・平面図形 ・空間図形	a:基本的な図形の性質を理解し、求値問題を解くことができる。 b:空間把握ができ、空間を平面図形として認識し、処理することができる。 c:基本的事項に関心を持ち、処理しようとする。平面、空間図形に関する課題に積極的に取り組んでいる。	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・協力して問題解決しているか
3学期	整数の性質	・約数と倍数 ・整数の性質 ・ユークリッドの互除法 ・1次不定方程式	a:基本的な整数の性質を理解している。 b:ユークリッドの互除法を利用することで、複雑な最大公約数や１次不定方程式を解くことができることを理解し、処理することができる。 c: 性質や処理方法に関心をもち、活用しようとする。	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・協力して問題解決しているか

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度